

市制施行50周年記念 冬の展示「筑紫野市のうつり かわり一街の変化と文化財―」展を開催しています

当館では、市制施行50周年を記念し、「本市の発展」をコンセプトに年間を通じて展示を行ってまいりましたが、本展はこれを締めくくる記念展示です。

本市のうつりかわりを、宅地化や商業施設の建設などの開発に伴う遺跡の発掘調査をキーポイントに発掘調査で出土した遺物とともに紹介します。

また、九州産業高校の史跡探索研究部が発見した『銚之記(ほこのき)』を初公開します。

- 1 会 期 令和5年1月7日(土)～令和5年3月31日(金)
※月曜日休館(月曜が祝日の場合は開館し、翌平日が休館)
- 2 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 3 場 所 筑紫野市歴史博物館 1階 企画展示室
- 4 入館料 無料

担当部署・お問い合わせ先

筑紫野市 教育部 文化財課 博物館担当 (担当 濱口)
住所 筑紫野市二日市南1-9-1 / 電話 092-922-1911 (内線 81-401)
FAX 092-922-1912 / E-Mail k-furusato@city.chikushino.fukuoka.jp

よろしくお願ひします



つくしちゃん

【街の変化と文化財】

- ・古墳時代の角坏(かくはい) (隈・西小田地区遺跡群出土遺物：現在の光が丘) **初公開資料！**
- ・江戸時代の陶製人形 (原田駅前発掘調査出土遺物：市内原田)
- ・古代の墨書土器 (岡田地区遺跡群出土遺物：市内岡田)
- ・弥生時代の壺 (前畑遺跡出土遺物：西鉄筑紫駅西口前)
- ・越州窯系青磁の唾壺 (堀池遺跡出土遺物：現在のJR二日市西口付近)

初公開資料！

【朝倉軌道】

- ・朝倉軌道の軌道跡 (映像資料)

【昔の暮らし】

- ・昭和38年の市内の暮らし (映像資料)

【吉木国民学校の資料からみる御笠村】

- ・『国民学校二即シタル私ノ農業教育実践篇』
(国民学校令に則り行った教育の記録)

【地図でみる本市の発展】

- ・主要道路や住宅等を描き込んだ昭和44年と令和4年の地図パネル

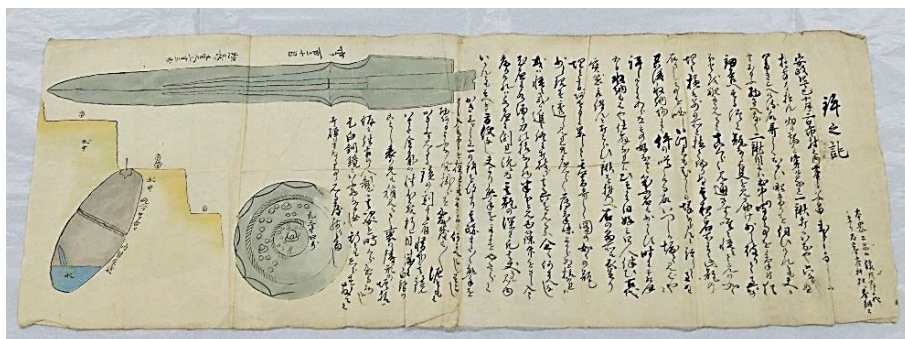
【トピック展示】初公開資料！

- ・『銚之記』 ※配布資料あり



初公開資料 角坏

角坏は、動物の角を模して作られた飲用の器と考えられる土器です。大変珍しい土器で、全国でもあまり出土例がありません。



初公開資料 『銚之記』

『銚之記』は、甕棺墓発見の様子を記録した、江戸時代終わり頃の文書です。弥生時代の甕棺や副葬品(銅剣、銅鏡)が描かれています。この時代に記録が残されることは珍しく、長らく原本の所在が分かりませんでした。昨年発見され、当館に寄贈されました。